

第6回水戸市総合企画審議会 会議録

1 附属機関の会議の名称

第6回水戸市総合企画審議会

2 開催日時

令和5年7月4日（火）午前10時05分から午前11時15分まで

3 開催場所

水戸市役所本庁舎4階 政策会議室

4 出席した者の氏名

(1) 委員

飯島清光，後藤通子，首藤敦子，関育夫，竹中大介，富田教代，原口弥生，袴塚孝雄，
百武幸子，平松良崇，保立武憲，綿引健

(2) 執行機関

田尻充，小田木健治，宮川孝光，小野瀬嘉行，宮川善行，須田秀人，深作毅史，
徳田恭子，平野孝典，宮窪千恵

5 議題及び公開・非公開の別

(1) 水戸市第7次総合計画・骨子「素案」について（公開）

(2) その他（公開）

6 非公開の理由

なし

7 傍聴人の数（公開した場合に限る。）

なし

8 会議資料の名称

資料1 水戸市総合企画審議会委員名簿

資料2 水戸市第7次総合計画策定スケジュールについて

資料3 水戸市第7次総合計画・骨子「素案」

資料4 基本構想・骨子「素案」意見公募手続の意見と回答について

資料5 水戸市第7次総合計画策定に係る市民参画(令和5年度)について

参考資料 第4回，第5回総合企画審議会における意見と対応について

9 発言の内容

【執行機関】所用のため____会長の到着が遅れておりますので，____副会長の進行で進めさせて

いただきたいと思います。ただいまから第6回水戸市総合企画審議会を開催させていただきます。本日は、御多用の折にもかかわらずお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

議事に先立ちまして、水戸市議会及び水戸観光コンベンション協会選出の委員の変更がありましたので、御紹介させていただきます。資料1として、修正した委員名簿を配布してまいります。

水戸市議会議員の___委員でございます。

また、同じく新たに委員となります水戸市議会議員の___委員、水戸観光コンベンション協会の___委員におかれましては、所用のため欠席との連絡を受けております。

それでは、___副会長に議事の進行をお願いいたします。

【副会長】 それではしばらくの間、代理ということで議事を進めさせていただきますので、委員の皆様にはよろしく御協力をお願いいたします。

議事に先立ちまして、本日、___委員、___委員、___委員、___委員、___委員、___委員、___委員、___委員から、所用のため欠席との連絡を受けておりますので、御報告を申し上げさせていただきます。また、本日の会議録署名人につきましては、___委員と___委員をお願いいたします。

また、本日の傍聴者はいないということでございますので、よろしくお願いいたします。

それでは、事前に水戸市第7次総合計画・骨子「素案」に係る資料が、事務局から送付されたと思います。本日は、主に総合計画・骨子「素案」につきまして、皆様から御意見等をいただきたいと思いますと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

はじめに、本日の審議会がどの段階での議論となるのか分かるよう、策定スケジュールにつきまして、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局説明)

【副会長】 ありがとうございます。それでは議事に入ります。事務局の方から資料3、資料4及び参考資料につきまして、説明をお願いいたします。

(事務局説明)

【副会長】 ありがとうございます。第4回及び第5回の審議会における意見とそれに対する考え方、意見公募手続における意見とそれに対する考え方、それらに基づいて追加した事項について、説明をいただきました。ただいまの説明につきましては、議論が大変多岐にわたっておりますので、項目ごとに区切って進めさせていただきます。

会長が到着しましたので、これよりは、会長に議長を交代したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【会長】 皆様、遅れて申し訳ありませんでした。それでは、これから私の方で議事を進めさせていただきます。御質問等あればいただきたいと思いますと思いますが、はじめに、基本構想、基本計

画「総論」といたしまして、20 ページまでの内容について、御質問、御意見がございましたら、手元のマイクのスイッチをオンにし、御発言をお願いします。

【___委員】言葉の表現で気になったところでもよろしいでしょうか。6 ページと7 ページに、人口と経済の展望ということで、人口や経済の目標値を書いているように読めるのですが、4 の経済のところが見通しという言葉を使っていて、これも目標にしている数字なのか、それとも客観的な第三者的などところで予測をしている数字なのか、二通りの見方ができてしまいます。もし目標としているのであれば、見通しという表現はあまり適切でないのかと感じます。

続けて、19 ページの目標指標で、移住相談件数とありますが、相談件数ではなくて、移住件数を目標にした方が良いのかなと思いました。

【執行機関】まず、7 ページの経済の見通しでございますが、この数字の趣旨は目標でございます。見通しとしている表現につきましては、どのような表現がいいのか検討させていただければと思います。

続いて、19 ページの移住相談件数でございます。水戸市の流入・流出人口が、毎年度1 万人を超える中で、移住という概念をどのように捉えるか、なかなか難しい部分がございます。まず、移住の動きがある中で、相談の間口を幅広くして、移住検討者にアピールしていくということで、相談件数とさせていただいております。

【会 長】17 ページの目標指標について、合計特殊出生率を加えております。ここについては少し説明が必要かと思っておりますので、事務局の方よりお願いいたします。

【執行機関】重点プロジェクトのミッション1「みとっこ未来プロジェクト」の目標指標のうち、今回新たに設定しました合計特殊出生率については、市内部で、出産することを押し付けるような印象を与えるのではないかと懸念する意見もありました。しかしながら、統計的な指標として一般的に使われているものであり、子育ての経済的な負担や不安を解消するとともに、子どもたちをまち全体で育む施策を推進することで実現を目指す目標との注釈を入れることで、その懸念を払拭できるものとして指標に入れております。委員の皆様にも、どのような印象を持つか、また、出産の押し付けに当たらないかなどの御意見をいただければと思います。

【会 長】目標指標については、前回の審議会であった意見をもとに事務局で議論して、このような形にしたということです。自治体としてこの数値を目標指標に掲げることについて、総合計画を御覧になった方がどのように思うのかという部分でございます。

【___委員】合計特殊出生率は、一人の女性が、一生の中で何人子どもを生むかという、とても分かりやすい指標なので、これを目標にしたからといって、それが出産の押し付けになるということにはならないと思います。何でも数値化すればいいというものではないですが、指標とすることで分かりやすくなると思います。

【会 長】この目標指標にするということは、現況として、毎年度、合計特殊出生率が表に出るということですので、非常に分かりやすいということかと思えます。

第7次総合計画は、市長のもと、こどもにすごく焦点を当てるということですので、様々な取組の成果として、若い世代が、生みたいと思えるような環境が整ったという、アウトカム指標になるかと思えます。現在、経済状況も厳しい中で、生むことを諦めているような方もいる訳ですから、そういう環境が整った成果としての数字だと思えますので、自治体にとって非常に重要なアウトカム指標ということで位置付ければ良いのではないかと思います。いろいろな御意見がある場合には、丁寧に説明されれば良いのかと思えます。

【___委員】合計特殊出生率が何を指すかというのがぱっと見て分かりやすいように、例えば括弧書きで書いていただくと良いのではないかと思います。

【会 長】確かに分かりやすいように説明書きがあると良いかと思えます。

【___委員】令和10年度末の目標水準が1.78というのは、結構挑戦的なのではないかと思えます。

【___委員】希望出生率については把握されていますでしょうか。

【執行機関】水戸市独自の調査はございませんが、国の調査では、希望出生率1.8という数字が出ております。合計特殊出生率とは算出方法が異なることを考慮しながら、参考とするデータだと思っております。

【会 長】希望出生率も低くなっているということは、環境やそれぞれのライフコースの中で、子育てのハードルが非常に高い社会になっているということかと思えますので、そこを変えていかなければならないのかと思えます。

【会 長】次に、基本計画各論の1の柱と2の柱といたしまして、22ページから49ページまでの内容について、御質問、御意見等ありましたら御発言をお願いいたします。

【___委員】26ページ、男性の育児休業取得率は、令和10年度末が50パーセント、令和15年度末が85パーセントを目標としていますが、これは何かの指標に基づいているのでしょうか。

【執行機関】こちらの目標値につきましては、先に国が発表しましたこども未来戦略方針で、85パーセントという目標を掲げております。

【___委員】男性の育児休業取得率に関しましては、女性側からはそんなに必要ないという声などもありますが、水戸市独自というよりは、国に基づいた目標ということですね。

【執行機関】国の目標値も掲げてございますし、水戸市としてもそういう協力体制を構築しながら、子育て支援に取り組んでいくという目標として設定しているものでございます。

【会 長】こちらの目標水準は、水戸市の事業者を対象とするということでしょうか。

【執行機関】こちらの現況値は、平成30年度に市内の事業者にアンケート調査した結果になっております。今年度、再度アンケート調査を実施しておりますので、最新値が出たら更新したいと考えております。

【会 長】続きまして、基本計画各論の3の柱と4の柱といたしまして、50ページから96ページの内容につきまして、御質問、御意見等がございましたら、御発言をお願いいたします。

【___委員】58ページ、高齢者が健康に安心して暮らせるまちづくりの目指す姿を、高齢者が健康で生きがいを持って暮らせるまちとしております。この小項目では、介護に関する施策は充実していますが、安心して健康で暮らせるための施策としては、修正のあったシルバーリハビリ体操教室等の通いの場への参加者数や健康寿命の延伸を目標水準としているものの、他にどのようなものを位置付けているのでしょうか。

【執行機関】こちらの修正部分でございますが、前回の審議会であった御意見ですと、通いの場への参加者数としたときに、通いの場というのが分かりづらいという指摘がありましたので、目標水準の表現を変えております。

また、健康づくりの部分につきましては、59ページの中段に、高齢者の健康づくりの充実として、シルバーリハビリ体操教室等の運営支援のほかに、専門職による教育、保健指導の実施やスマートフォン等を活用した取組の推進などを位置付けてございます。

【___委員】通いの場というと、例えばおしゃべりする場もあると思います。新型コロナの影響で、外出の自粛をお願いされたこともありましたが、高齢者が通って、会話したり、友達と集まって何かをするような場所がなくて、なかなか困っています。この場が市民センターであれば本来はいいのかもしれませんが、市民センターに行くのも容易でないという方もいるので、近くにそういうおしゃべりができるような、集まりができるような場所っていうのも、健康で生きていくためには必要なのかと思います。

【執行機関】主要事業として、健康づくりの充実のほかに、高齢者の社会参加や生きがいづくり、いきいき交流センターの機能の充実など、高齢者が集い、交流する施策も位置付けております。ただいまの御指摘を踏まえ、目標水準の表現についても、検討させていただきたいと思います。

【会 長】確かにシルバーリハビリ体操が目立ちますが、社会福祉協議会が実施しているような、いわゆるサロンも含まれているような表現をされれば良いかと思いました。

【___委員】目標水準に記載されている健康寿命は、全国平均よりも長いと思いますが、これは水戸市の健康寿命ですか。

【執行機関】健康寿命につきましては水戸市の数値でございますが、ただいま現況の数値を精査しているところです。今後、数値の修正があるかもしれませんので、御了承いただければと思います。

【___委員】59 ページ、高齢者の移動しやすい環境づくりの事業概要に、水都タクシーの運行継続とあります。現在、水都タクシーを運行している場所については、バス路線が廃止されたところが多いわけです。現実の問題として、高校生も親に送ってもらわなければ学校へ通えないという地域が、水戸の中でも出てきております。路線バスも廃止する傾向にこれからなっていくと思います。そこで、この水都タクシーに限らず、十人乗りぐらいのワンボックス車を使い、定期的買い物に行く、病院に行く、通学するといった時間で、少人数が活用できるような乗り合いの仕組みがあってもいいのではないのでしょうか。水都タクシーは場所ごとに1台しか配置されていないですから、交通手段として、公共的な地域バスのようなものがあれば、高齢者にとっては大変移動しやすくなると思います。運転免許を返納しても、まちなかですら買い物に行くのが大変という場所もございますので、検討いただきたいと思います。

【執行機関】ただいまの御指摘であったような課題もございます。高齢者の移動しやすい環境づくりについては、事業概要に新たな移動支援施策の検討を位置付けておりますので、費用対効果も含めながら、検討していきたいと考えております。

【___委員】50 ページのがん検診を受診している市民の割合、62 ページの特定健康診査受診率は、うろ覚えですが、令和4年度より前は、ずっと20パーセント程度で推移していたと思います。がん検診の目標値は令和10年度末に40パーセント、15年度末に60パーセント、特定健康の目標値は令和10年度末に45パーセント、15年度末に60パーセントとありますが、新たな抜本的に受診率を向上させる施策が主要事業にあまり記載されていないので、これまでやってきたことを地道に重ねることで、目標数値に達するののかという疑問を感じました。何か新しい施策があれば教えてください。

【執行機関】現時点でこの施策の中に新たな取組の位置付けはございません。より分かりやすい、受診しやすい環境を整えていく中で、受診率の向上を図ってまいりたいと考えております。また、他市の事例も参考にしながら、受診率向上策について十分検討してまいります。

【会 長】そう簡単に向上するものではないというのは十分承知をしておりますし、啓発を引き続きやっていくのは間違いないでしょう。また、健康に関する意識は、おそらく年々上がってきていると思います。あとはお金の問題になってくるのかとも思いますので、そこはもう少し複合的に、具体化していければ良いと思います。

【___委員】52ページの在宅医療を担う医療機関数の目標水準について、現在29か所、前期目標を32か所、期間目標を36か所としています。現在、団塊の世代が後期高齢者になり、高齢者人口が非常に多くなっている中、目標の32か所で対応できるのか疑問に思います。老人ホームなども非常に厳しい状況でありますし、医師の高齢化も進んでいる中、新型コロナの影響によって、在宅医療のニーズは増えていくと思いますので、もう少し目標値を上げる手立てがあってもいいのではないかと感じました。

【執行機関】こちらの目標値につきましては、医師会等との協議の状況もございますので、ただいまの御意見を踏まえまして、検討してまいりたいと思います。

【___委員】前回の審議会でも申し上げましたが、81ページの町内会・自治会加入率の目標値が低いのではないのでしょうか。

【執行機関】町内会・自治会加入率については、前回は御指摘いただいたところです。近年は毎年度1から2パーセントの減少が続けている中で、まずは前期の5年間において減少を抑え、その後、令和15年には回復させていくということで目標値を設定したものでございます。こちらにつきましては、住みよいまちづくり推進協議会の御協力も得ながら考える必要がございますので、現時点におきましてはこの目標で進めてまいりたいと考えております。

【___委員】住みよいまちづくり推進協議会とは、協議はされていますか。

【執行機関】継続して協議をしているところでございます。

【会 長】これまでの御意見等については、事務局で整理した上で、総合計画「素案」をまとめていくこととしたいと思います。

続きまして、その他として、水戸市第7次総合計画策定に係る市民参画について、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局説明)

【会 長】ありがとうございます。8月に全6回の市民懇談会を開催するほか、意見公募手続、絵画・作文コンクールなどが予定されているということでもあります。この議題については、よろしいでしょうか。

それでは、最後に事務局から、次回の日程について説明をお願いいたします。

(事務局説明)

【会 長】次回は10月の下旬頃に予定されているということですので、よろしくをお願いいたします。また、総合計画「素案」を審議するとともに、小委員会の選任についても進めることに

なっております。

これまで通り、何か御意見等あれば、7月4日までにメール等で事務局まで御連絡をお願いいたします。

以上で本日の議事は終了いたしました。円滑な議事の進行に御協力いただきありがとうございます。それでは進行を事務局にお戻しいたします。

【執行機関】 以上をもちまして、第6回水戸市総合企画審議会を終了いたします。長時間にわたり御審議いただきまして、誠にありがとうございました。